

ザインエレクトロニクス株式会社

2025年12月期

第3四半期決算説明資料

2025.11.05

中期経営戦略 2025-27

Innovate100

会社概要

Interface to the Future
- Solution by Smart Connectivity -

“高速情報伝送の世界標準技術等、独自の価値を世界市場に提供”

- 社名 ザインエレクトロニクス株式会社
(英名 : THine Electronics, Inc.)
- 代表者 代表取締役会長 飯塚 哲哉
代表取締役社長 南 洋一郎
- 創業理念 「人資豊燃」
- 資本金 11億7,526万円
- 創業 1991年5月 ((株)ザイン・マイクロシステム研究所)
- 株式公開 2001年8月 東京証券取引所 (スタンダード)
- 事業内容 ミックスドシグナルLSIの設計開発・製造・販売
AI・IoTソリューション開発・提供、
AI等データサーバー製品の企画・開発・製造・販売
- 従業員数 131名 (2025年9月末日現在、連結ベース)
※『健康経営優良法人2025』認定



事業拠点

韓国 - Korea -

ザインエレクトロニクスコリア
(THine Electronics Korea, Inc.)
韓国ソウル市 2010年3月設立

中国 - China -

賽恩電子香港股份有限公司
(THine Electronics Hong Kong, Co., Ltd.)
2012年11月設立
前海賽恩電子(深圳)有限公司
(THine Electronics Shenzhen, Co., Ltd.)
2013年5月設立
同社上海分公司
2013年10月設立
深圳泰晨訊科技有限公司
(Shenzhen DynaCathay Communication Technology Co.,Ltd.)
2018年12月連結子会社化

台灣 - Taiwan -

哉英電子股份有限公司
(THine Electronics Taiwan, Inc.)
台湾台北市 2000年9月設立

LSI 東京本社

東京都千代田区
1991年5月 創業

AIOT

ザイン・モバイルテック(株)
— Yokohama —
THine MobileTek, Inc.
神奈川県横浜市
2018年12月連結子会社化

Server

ザイン・ハイパーデータ(株)
— Yokohama —
THine HyperData, Inc.
神奈川県横浜市
2024年6月設立

THine Electronics, Inc.

Copyright © 2025 THine Electronics, Inc. All Rights Reserved.

3

事業領域

LSI
事業

製品・ソリューション

<高速インターフェースLSI>

V-by-One[®] HS plus

V-by-One[®] HS

LVDS

Serial Transceiver IOHA:B

光半導体 (VCSELドライバ、TIA等)



<カメラソリューション>

Image Signal Processor

Camera Development Kit



AIoT
事業

<通信モジュール>

5G/LTE/NB-IoT



<AI・IoTソリューション>

IoTゲートウェイ/ルータ



AI/IoTソリューション開発

<AIサーバー>

NVIDIA H100 GPU搭載AIサーバー



<データサーバー>

General Server



Smart NIC/Switch

適用アプリケーション例

- 事務機器（複合機（MFP）等）、アミューズメント機器
- カメラ（車載カメラ、セキュリティカメラ、AR/VR、認証用カメラ、手術用カメラなど高精細カメラ）
- 8K / 4Kなど高解像度映像機器、ゲーミング機器
- ドライブレコーダ、EVなどの車載表示装置
- モバイル・PC、シングルボードコンピュータ
- 半導体・液晶ディスプレイ等検査装置
- AI光コンピューティング（データセンター内の光ネットワーク）

<AI・IoTソリューション事業>

- 通信機能付きドライブレコーダー
- AED（自動体外除細動器）遠隔監視
- IPトランシーバー
- 自動販売機、エレベーター遠隔監視装置、決済端末
- 見守りGPSトラッカー、地域見守りネットワークシステム
- スマートメーター、IoTスマートモジュール
- AI顔認証型体温検知システム、IoT温度監視システム

<サーバー事業>

- ODM/OEMにより日本企業・AI等研究機関にAIサーバー・データサーバーを提供

事業領域

THine グループのビジネス領域

THine商品のユースケース(活用例)

THine商品は世の中の様々な商品・サービスの革新に貢献しています。



キャッシュレス決済



クレジットカード等による、キャッシュレス決済を実現



POS端末
POS端末の情報伝送

安全運転支援



ドライバーの疲労等の異常を検知し、安全運転を実現(ドライバーサポートシステム)



車載機器
車載カメラなどの高度な画像処理・伝送

自動販売機管理



自動販売機の在庫管理・監視・売上金額集計



自動販売機画面
自動販売機画面の情報伝送

車両運行管理



バス、トラック等の業務用車両の位置情報・運行・動態管理



車載ディスプレイ
車載ディスプレイの表示制御

THine®

見守り・ヘルスケアサービス



児童や高齢者の見守りや高品質な患者のケアを実現



医療機器
内視鏡など、医療用カメラの高度な画像処理・伝送

広告・販売戦略の変革



リアルタイムでのコンテンツ配信など、訴求効果の高い広告・販促活動を実現



デジタルサイネージ
サイネージの高解像度画像伝送

Hyper Automationの加速

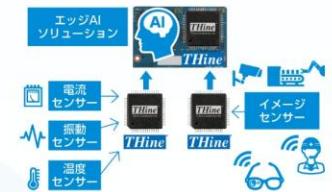


5Gの環境下、社会インフラや工場内の膨大なデータ(センサーからの情報、画像情報等)を収集し、現場(エッジ)に近い場所で一次処理(エッジAIソリューション)の後、さらに生産性向上や自律化、省人化を実現



ローカル5Gエリア

ローカル5Gとは、国からの無線局免許取得により、企業や自治体が自らの敷地内で自営の5Gネットワークを構築・運用・利用することができます。



'25年12月期3QTR業績のポイント①

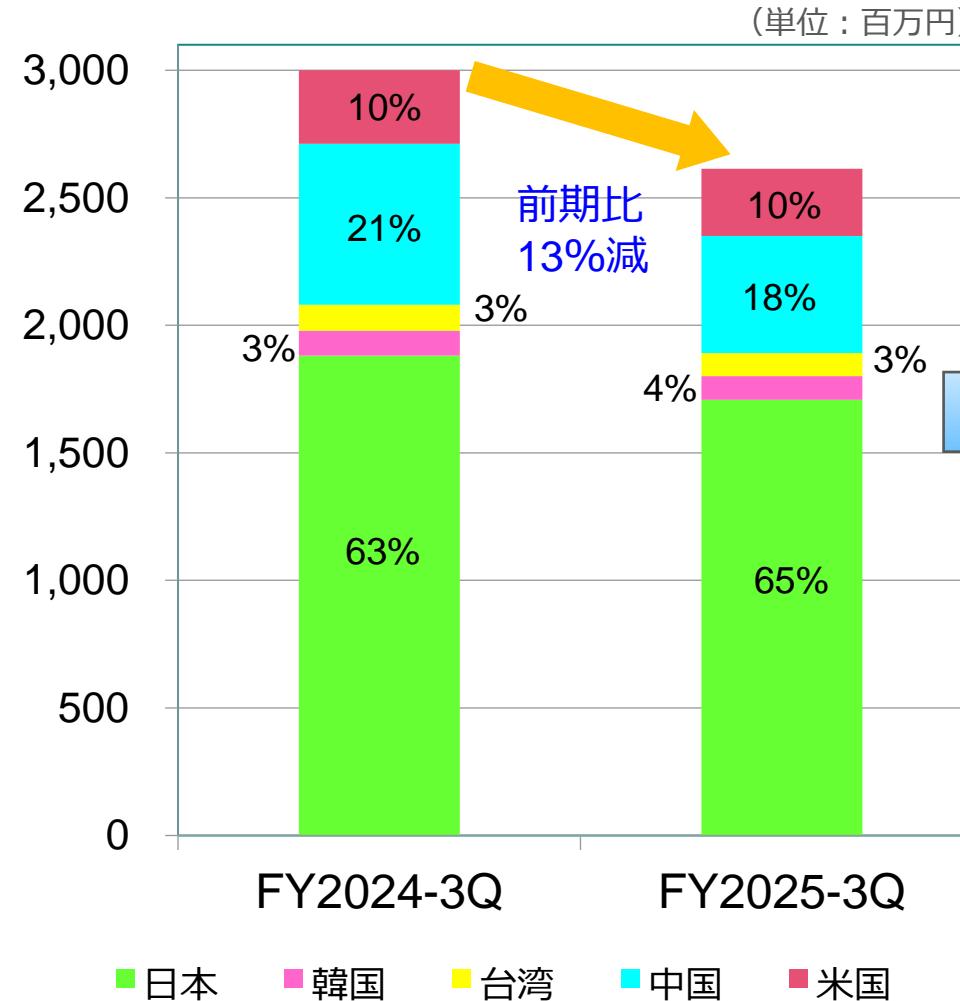
► 連結業績概要 (2025年3QTR)

(百万円)

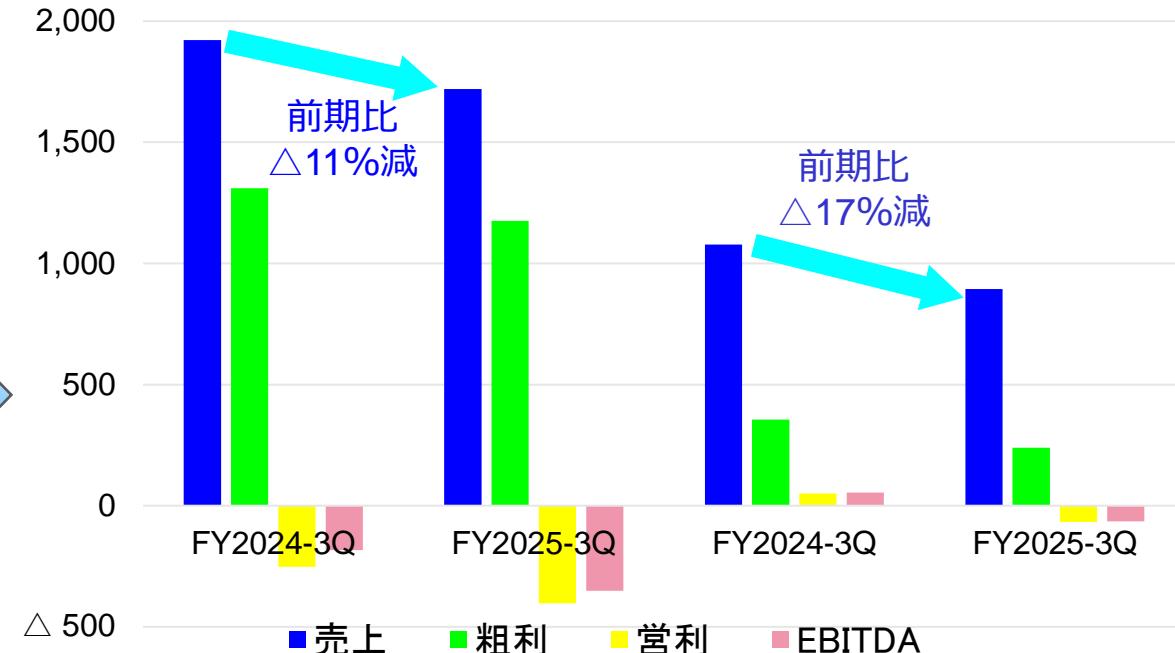
		2025年3QTR		2024年3QTR	構成比
		構成比	前期比		
売上高	2,613	100.0	87.1	3,000	100.0
売上総利益	1,414	54.1	84.9	1,665	55.5
販売管理費	1,884	72.1	100.9	1,867	62.2
(うち研究開発費)	932	35.7	103.9	897	29.9
営業利益	△470	△18.0	—	△201	△6.7
(EBITDA)	△415	△15.9	—	△129	△4.3
経常利益	△621	△23.8	—	△196	△6.6
参) 経常利益 (為替差損益を除く)	△466	△17.9	—	△198	△6.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△529	△20.3	—	△196	△6.6

'25年12月期3QTR業績のポイント②

▶ 2025年12月期3QTR売上分析 (地域別・セグメント別)



LSI事業

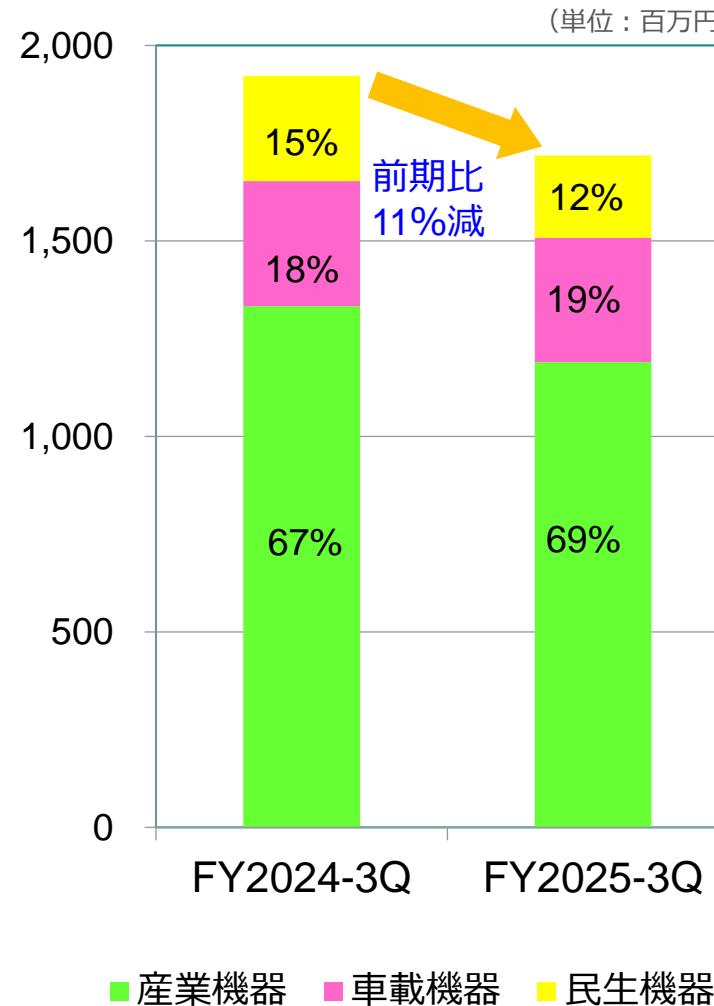


AIOT事業

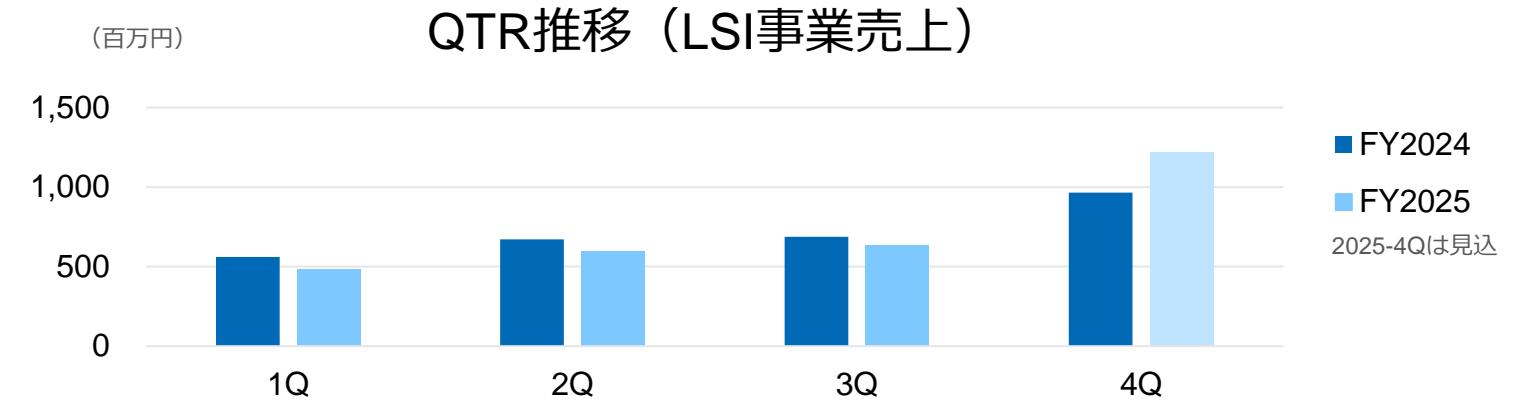
- LSIは国内市場はOA向け需要回復もアミューズ向けは依然在庫調整の影響が継続、海外市場は米国向けは引き続き堅調で、売上は前期比減収($\triangle 11\%$)。
- AIOTは3QTRよりスマートメータ向け量産出荷開始、AED・エレベータ向け等も堅調もドライブレコーダー・自販機向け等で顧客需要減少による受注減等により、売上は前期比減収($\triangle 17\%$)。

'25年12月期3QTR業績のポイント③

▶ LSI事業売上分析（アプリケーション・市場別）

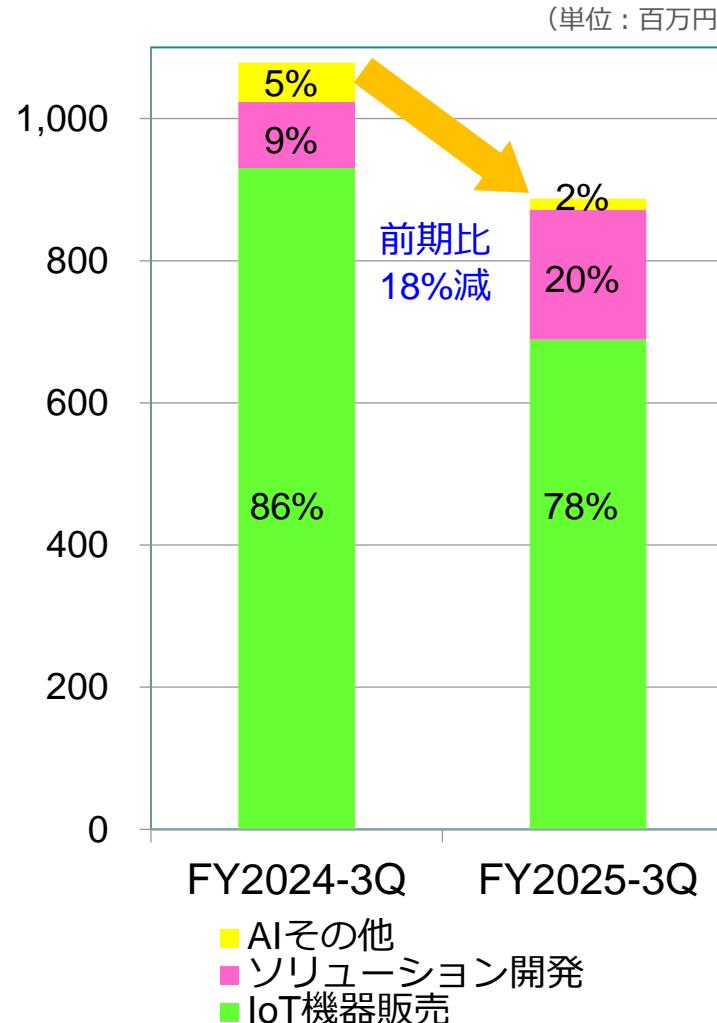


要因分析	
産機	売上全体の69%。OA機器向けは需要回復、アミューズメント機器向けは依然として在庫調整等の影響が継続、産機全体で前期比減(△11%)。OA機器向け(+25%)・アミューズメント機器向け(△63%)・その他向け(△11%)。
車載	売上全体の19%。前期比概同水準。EV向け新製品拡販継続、中国市場向けは前期比増加(+16%)。
民生	売上全体の12%。前期比減(△22%)。4K/8Kテレビ等ディスプレイ向け情報伝送技術の当社新標準V-by-One®HS plusの提供は順調に進行。

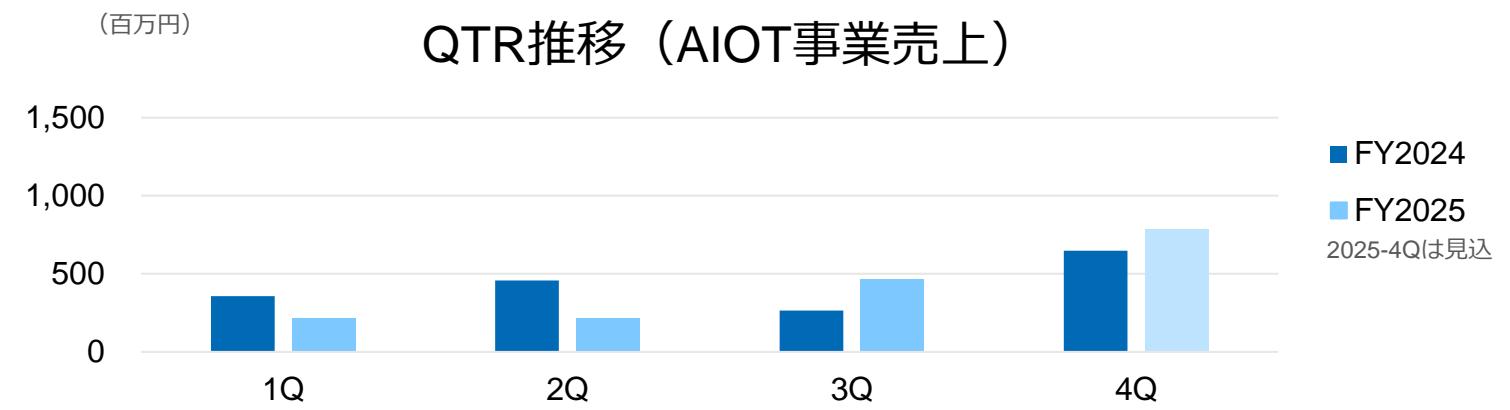


'25年12月期3QTR業績のポイント④

▶ AIOT事業売上分析 (売上区分別)



要因分析	
販売機器	売上全体の78%を占める。3QTRよりスマートメータ向け量産出荷開始。AED・エレベータ遠隔監視向け等の製品出荷も堅調もドライブレコーダ・自販機向け等の顧客の需要大幅減による受注減少等の影響により前期比減少(△26%)。
ソリューション開発	OEMルーター開発、監視カメラ組込用OEMルーター開発等、リピートオーダー等により前期比増加(+96%)。
その他	前期減少(△72%)。前期より開始したサーバービジネスの立ち上げに注力。



'25年12月期3QTR業績のポイント⑤

▶ 営業損益変動内訳

- 前期比減収（△13%）、粗利減益（△15%）。
- R&D投資、前期比増加（同+4%）、新製品開発に積極的に投資実施。
AIデータセンター向け世界初DSPレス光半導体製品開発、EVパネルおよびカメラ向けV-by-One[®]HS新製品開発、新規電源製品開発、通話機能付きGW新製品開発、スマートIoTルーター等にトータルで￥932Mを効率的に投資。

※ 総務省より受託した5Gを遥かに超える高速無線通信技術開発は当期も継続（費用は一部総務省負担）。

※ 光半導体開発はNICTの助成プログラムとして採択（3年間、令和7年度～8年度は6億22百万円の交付額）。

FY2024-3QTR 営業損益

△201

粗利減少

△251

R&D投資増加 その他管理費削減

△34

+17

FY2025-3QTR 営業損益

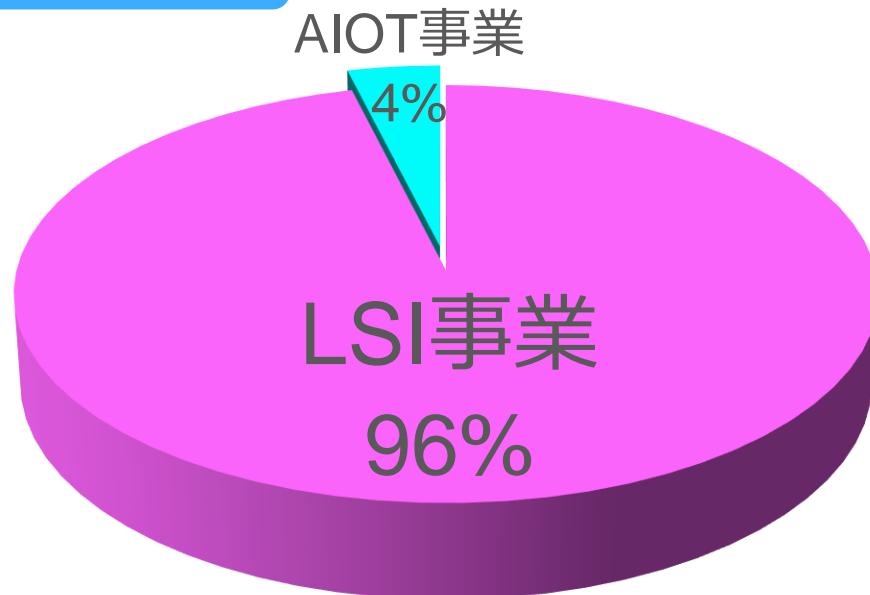
△470

(単位：百万円)

'25年12月期3QTR業績のポイント⑥

- ▶ 研究開発の状況
- ▶ 新中期経営戦略『Innovate100』の実現に向けて総額13億65百万円（前期比+18%）の投資を計画

'25年計画



FY2025-3QTR実績

- ▶ **9億32百万円**の投資実施
計画進捗率 68%
前期比 104%



『Innovate100』重要技術開発

- ▶ AIデータセンター向け世界初DSPレス光半導体製品開発
- ▶ EVパネル・カメラ向け等V-by-One®HS製品
- ▶ 新規電源製品開発
- ▶ エッジAI処理用モジュール開発
- ▶ 音声通話機能付きゲートウェイ製品開発
- ▶ スマートIoTルーター開発
- ▶ スマートモジュール活用ソリューション開発
- ▶ 1000Gbpsを見据えた（beyond 5G）無線通信技術開発、等

'25年12月期3QTR業績のポイント⑦

▶ 資産・負債及び純資産の概要 (2025年9月末日)

(百万円)

	資 産			負債純資産	
	'25-3Q末	'24末		'25-3Q末	'24末
現預金	6,791	7,306	買掛金	476	289
売掛金	675	1,144	その他流動負債	212	306
棚卸資産	1,312	842	固定負債	158	141
その他流動資産	348	264	株主資本	8,649	9,309
有形固定資産	147	161	その他包括利益累計額	98	79
無形固定資産	50	55	新株予約権	77	73
投資その他	431	554	非支配株主持分	82	130
資産合計	9,755	10,329	負債純資産合計	9,755	10,329

▶ '25年3Q末保有の米ドル建現預金残高： 約US\$8M

‘25年12月期3QTR業績のポイント⑧

▶ キャッシュフローの概要 (2025年3QTR) (百万円)

	FY2025-3Q	FY2024-3Q
営業CF	△433	2
投資CF	174	△91
財務CF	△139	△161
換算差額	△116	19
期首残高	7,306	7,377
期末残高	6,791	7,146

- 税金等調整前純損失、売上債権減少、棚卸資産増加、等
- 投資有価証券売却、等
- 前期配当金支払い、等
- ¥158→¥149 (2025年3QTR末)

新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 2025年12月期通期業績見通し

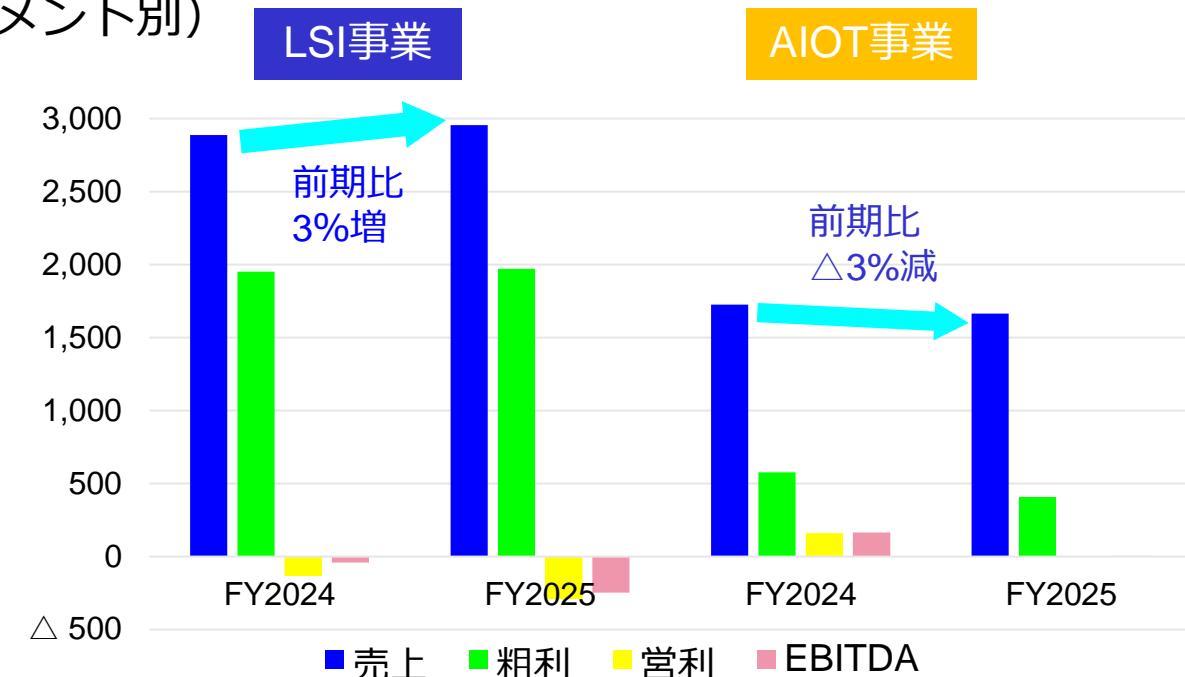
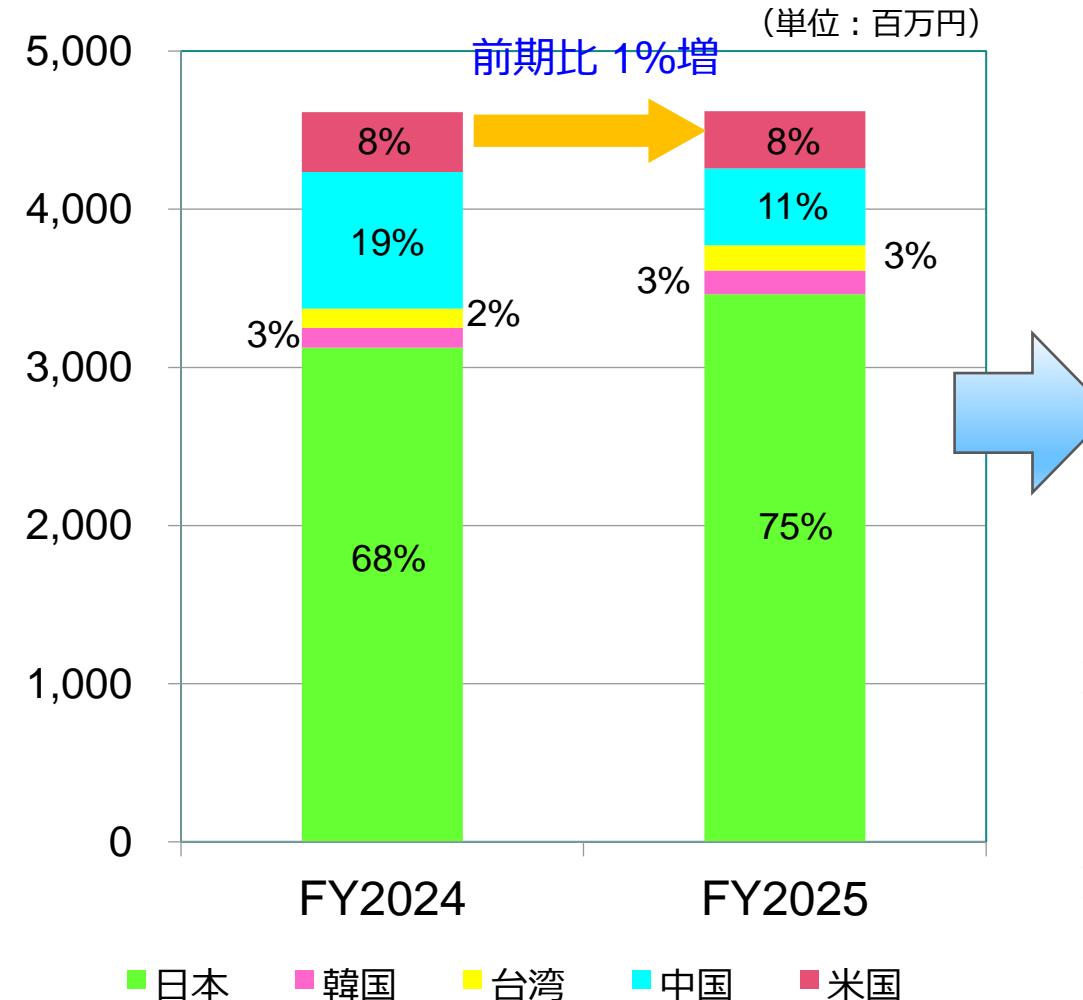
当期より新たな中期経営戦略『Innovate100』をスタートいたしました。目標年次（2027年度）において売上高100億超の実現を目指します。当期においては、最近の業績動向を踏まえ、通期業績見通しを下記の通り修正いたします。

（百万円）

	2025年度通期見通し			2025年度計画		2024年実績		
		構成比	計画比	前期比		構成比		構成比
売上高	4,620	100.0	△27.4	+0.1	6,366	100.0	4,614	100.0
売上総利益	2,380	51.5	△24.4	△5.9	3,150	49.5	2,528	54.8
販売管理費	2,670	57.8	△3.6	+6.8	2,768	43.5	2,500	54.2
（うち研究開発費）	1,377	29.8	+0.8	+19.3	1,365	21.5	1,154	25.0
営業利益	△290	△6.3	—	—	381	6.0	28	0.6
EBITDA	△243	△5.3	—	—	455	7.2	125	2.7
経常利益	△407	△8.8	—	—	360	5.7	264	5.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	△279	△6.1	—	—	301	4.7	339	7.4

新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

► 2025年12月期通期業績見通し（地域別・セグメント別）

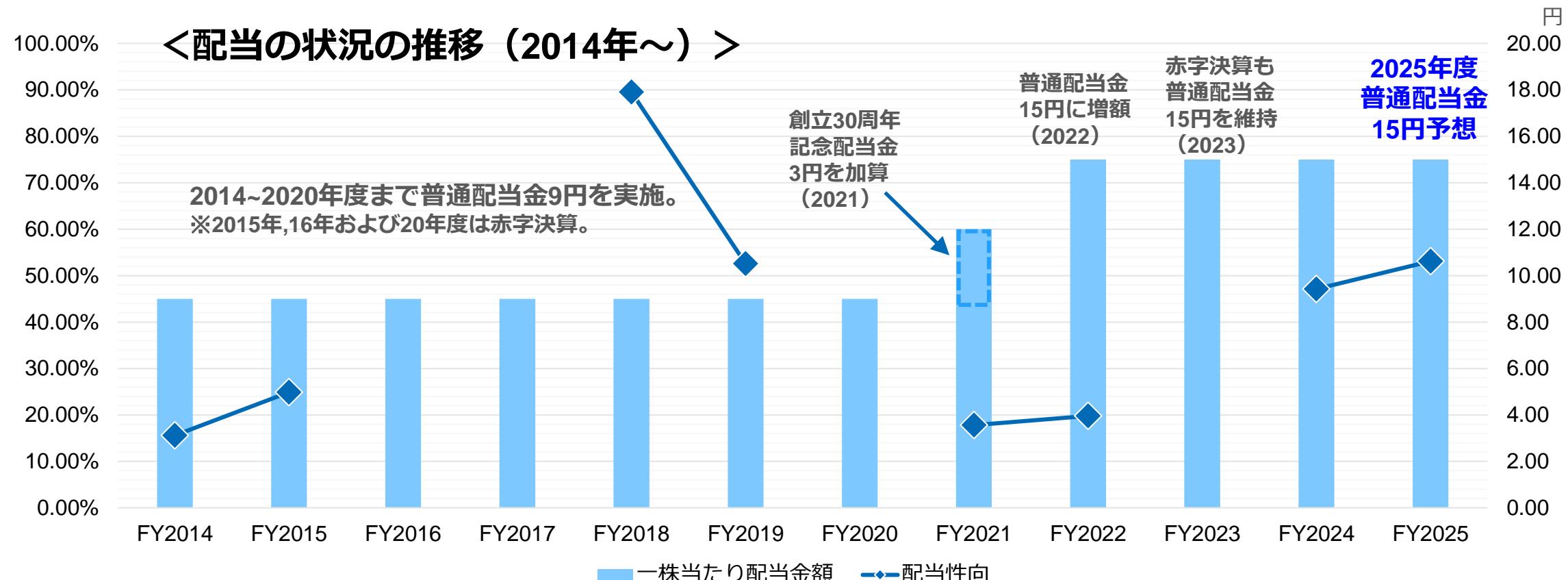


- LSI事業はOA機器市場向けは回復も、アミューズメント市場向けで依然在庫調整の影響が継続し回復せず。海外市場向けも米国市場向けは堅調も、中国市場も関税問題の影響等により伸び悩み前期比微増にとどまる見込み（+3%）。
- AIOT事業は当下半期よりスマートメータ向け製品の量産出荷を開始も、ドライブレコーダ・自販機等向けでの大幅な顧客所要減をカバーできず、前期比微減（△3%）の見込み。

新中期経営戦略「Innovate100」（2025-2027）

▶ 株主の皆様への還元方針

新中期経営戦略「Innovate100」の実現に向けて取り組み、今後の成長を踏まえて株主の皆様への還元を実施して参ります。2025年12月期の期末配当については、**従来予想通り1株当たり15円予想で変更はございません。**



Interface to the Future

- Solution by Smart Connectivity -

URL <https://www.thine.co.jp/>

【お問合せ先】

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9-1

総務部IR担当 (TEL: 03-5217-6660)

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断に基づき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おきください。また、本資料に記載されている各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。